

第17期 決算公告

2023年3月15日

東京都千代田区神田和泉町2番地

NXキャピタル株式会社

代表取締役社長 柴田 保之

貸借対照表

〔 2022年12月31日現在 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
【流動資産】	186,524	【流動負債】	172,470
現金及び預金	46,059	電子記録債務	7,069
電子記録債権	844	買掛金	3,851
売掛金	142	短期借入金	38,000
営業貸付金	122,824	未払金	214
未収金	7,548	未払法人税等	53
前渡金	446	預り金	123,242
立替金	8,655	賞与引当金	4
その他	2	その他	34
		【固定負債】	10,023
【固定資産】	30	長期借入金	10,000
無形固定資産	18	繰延税金負債	15
ソフトウェア	18	退職給付引当金	7
投資その他の資産	11	負 債 合 計	182,493
その他	11	(純 資 産 の 部)	
		【株主資本】	3,990
		資本金	2,000
		利益剰余金	1,990
		利益準備金	241
		その他利益剰余金	1,749
		繰越利益剰余金	1,749
		【評価・換算差額等】	70
		繰延ヘッジ損益	70
		純 資 産 合 計	4,061
資 産 合 計	186,555	負債純資産 合計	186,555

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 自 2022 年 1 月 1 日
至 2022 年 12 月 31 日 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		2,357
売上原価		911
売上総利益		1,445
販売費及び一般管理費		172
営業利益		1,272
営業外収益		2
営業外費用		
為替差損	638	
その他	2	640
経常利益		634
特別損失		
固定資産処分損	3	3
税引前当期純利益		631
法人税、住民税及び事業税	198	
法人税等調整額	△ 4	194
当期純利益		436

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

A. 固定資産の減価償却の方法

(1) 無形固定資産

定額法。なお、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年間）による定額法を採用しております。

B. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に支給する賞与の当期負担分について、支給見込額基準により計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、期末における退職給付債務の見込額を計上しております。

C. 収益及び費用の計上基準

当社のロジスティクスファイナンス取引に係る収益は、購買代行業務であり、顧客からの受注に基づいて仕入先から調達した部品等を顧客に引き渡す履行義務を負っています。当該履行義務は、部品等を引き渡す一時点において、顧客が財又はサービスに対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しています。

当社の顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人であるため、純額で収益を認識しています。

D. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

資産に係る控除対象外消費税等は全額費用処理しております。

(2) 外貨建の資産および負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(3) 連結納税制度の適用

親会社である NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社は連結納税制度を適用しております。税効果会計の適用にあたっては、当社を含む連結納税主体としての課税所得の見積りに基づき、将来の会計期間における繰延税金資産の回収可能性を検討しております。

翌事業年度からは、連結納税制度からグループ通算制度へ移行することとなります。ただし、「所得税法等の一部を改正する法律（令和２年法律第８号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第３９号 ２０２０年３月３１日）第３項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第２８号 ２０１８年２月１６日）第４４項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

なお、翌事業年度の期首から、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取扱いを定めた「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第４２号 ２０２１年８月１２日）を適用する予定であります。

２．貸借対照表に関する注記

A．関係会社に対する金銭債権および金銭債務

金銭債務	40,767 百万円
------	------------

B．貸出コミットメント

当社は、親会社およびグループ会社等の間でCMS運営基本契約を締結し、CMSによる貸付限度額を設定しております。

これら契約に基づく当事業年度末の貸付未実行残高は次のとおりであります。

CMSによる貸付限度額の総額	202,925 百万円
<u>貸付実行残高</u>	<u>433 百万円</u>
差引貸付未実行残高	202,491 百万円
対象会社数	139 社

３．税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金の否認等であります。

繰延税金負債の発生の原因は、為替予約の時価評価に係る繰延ヘッジ損益であります。

4. 関連当事者との取引に関する注記

A. 親会社

(単位：百万円)

属 性	会 社 の 名 称	議 決 権 等 の所有(被 所有)割合	関 連 当 事 者との関 係	取 引 の 内 容	取 引 金 額 (注 1)	科 目	期 末 残 高
親会社	NIPPON EXPRESS ホ ールディン グス 株式会社	被所有 直接 100%	資金貸借 役員の兼任	資金の貸付 資金の受入 資金の借入 利息の受取 利息の支払 連結法人税	— (注 2) — (注 2) 6,000 3 0 159	営業貸付金 預り金 短期借入金 未払費用 未払金	— 34,580 6,000 0 186

B. 兄弟会社等

(単位：百万円)

属 性	会 社 の 名 称	議 決 権 等 の所有(被 所有)割合	関 連 当 事 者との関 係	取 引 の 内 容	取 引 金 額 (注 1)	科 目	期 末 残 高
親 会 社 の 子 会 社	日本通運 株式会社	なし	資金貸借 運送取引	資金の貸付 資金の受入 利息の受取 利息の支払 運送料等支払	— (注 2) — (注 2) 177 1 455	営業貸付金 預り金	113,299 25,592
親 会 社 の 子 会 社	NX商事 株式会社	なし	資金貸借 電子記録 債権発行	資金の貸付 資金の受入 利息の受取 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 3 0	営業貸付金 預り金 未収金	— 4,456 6,524
親 会 社 の 子 会 社	NXトランス ポート 株式会社	なし	資金貸借	資金の貸付 資金の受入 利息の受取 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 6 0	営業貸付金 預り金	3,524 —
親 会 社 の 子 会 社	NX不動産 株式会社	なし	資金貸借	資金の貸付 資金の受入 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 0	営業貸付金 預り金	— 4,542
親 会 社 の 子 会 社	NX・NP ロジスティクス 株式会社	なし	資金貸借	資金の貸付 資金の受入 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 1	営業貸付金 預り金	— 10,169

親 会 社 の 子 会 社	日通 NEC ロジスティクス 株式会社	なし	資金貸借	資金の貸付 資金の受入 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 0	営業貸付金 預り金	— 5,811
親 会 社 の 子 会 社	株式会社 NXワンビ シアークイ ブズ	なし	資金貸借	資金の貸付 資金の受入 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 0	営業貸付金 預り金	— 7,773
親 会 社 の 子 会 社	NX備通 株式会社	なし	資金貸借 電子記録 債権発行	資金の貸付 資金の受入 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 0	営業貸付金 預り金	— 2,186
親 会 社 の 子 会 社	NX海運 株式会社	なし	資金貸借	資金の貸付 資金の受入 利息の受取 利息の支払	— (注 2) — (注 2) 8 0	営業貸付金 預り金	1,209 2,369

(注1) 取引金額には消費税等を含めておりません。

(注2) グループ内の資金を当社が一元管理するキャッシュ・マネジメント・システムにおける取引であり、参加会社間で資金の貸借を日次で行っているため、取引金額は記載しておりません。なお、金利については、市場金利を勘案して決定しております。

5. 1株当たり情報に関する注記

- A. 1株当たり純資産額 101,545 円 04 銭
B. 1株当たり当期純利益 10,922 円 49 銭

6. 重要な後発事象に関する注記

(会社分割の実行)

当社は、2022年8月15日にNX商事株式会社（以下、NX商事）と吸収分割契約を締結し、2023年1月1日付でロジスティクスファイナンス事業を同社へ承継いたしました。

A. 目的

NXグループは、持株会社体制移行に伴い、グループ経営の強化を目的としてグループ内企業で重複する事業・機能の整理・統合に取り組み、グループ各事業の高度化を進めております。事業再編の実施により、業務効率の向上等によるグループシナジーの創出を目指します。

今般、当社のロジスティクスファイナンス事業を、豊富な国際間の物品売買取引に強みを持つNX商事に統合し、両社の営業ネットワークやノウハウを共有・活用することで専門性・競争力の向上および事業の強化を図り、お客様のトレーディングビジネスをグローバルにサポートすることといたしました。

B. 概要

(1) 会社分割の効力発生日

2023年1月1日

(2) 会社分割する事業内容（規模）

ロジスティクスファイナンス事業（2022年度売上高 2,109 百万円）

(3) 会社分割の形態

吸収分割

(4) 分割会社、承継会社の概要

分割会社

(1) 名称	NXキャピタル株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区神田和泉町2番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 柴田 保之
(4) 事業内容	ロジスティクスファイナンス事業、グループファイナンス事業、電子記録債権発行代行事業
(5) 資本金	20億円
(6) 設立年月日	2006年10月
(7) 大株主と持株比率	NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社 100%

承継会社

(1) 名称	NX商事株式会社
(2) 所在地	東京都港区海岸1丁目14番22号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 秋田 進
(4) 事業内容	物流関連商品・包装資材の販売、物流機器・建設資材の販売、石油・LPガスの販売、保険代理店、車両建設機械整備・トレーラ製作、架装・コンテナ製作、ロジスティクスサポート（輸出梱包・国際調達）、不動産賃貸等
(5) 資本金	40億円
(6) 設立年月日	1958年10月
(7) 大株主と持株比率	NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社 100%

C. 実施する会計処理の概要

本吸収分割は、「企業結合に関する会計基準（企業会計基準第21号 2019年1月16日）」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）」に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定です。